

令和4年度試験問題(抜粋)

【問題5】呼吸補助筋はどれか。

1. 胸鎖乳突筋
2. 外肋間筋
3. 内肋間筋
4. 横隔膜

【問題6】感覚野があるのはどれか。

1. 前頭葉
2. 頭頂葉
3. 側頭葉
4. 後頭葉

【問題9】脳神経と障害について正しいのはどれか。

1. 中枢性の顔面神経麻痺では、前額部の運動麻痺が起こる。
2. 末梢性の三叉神経麻痺では、下顎反射の亢進がみられる。
3. 中枢性の舌咽神経麻痺では、後咽頭の偏位がみられる。
4. 末梢性の舌下神経麻痺では、舌萎縮がみられる。

【問題14】嚥下運動について正しいのはどれか。

1. 咽頭括約筋が順次収縮すると咽頭腔の圧が上昇する。
2. 嚥下運動が誘発されると呼吸運動と咀嚼運動が停止する。
3. 軟口蓋が下降し咽頭筋収縮が起こると鼻咽腔が閉鎖される。
4. 喉頭が挙上し舌骨が前上方に移動すると喉頭口が閉鎖される。

【問題 15】 観察所見と関係の深い摂食嚥下障害で正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|--------------------|---|--------|
| 1. 声がかすれている | — | 喉頭閉鎖不全 |
| 2. 開口を指示するとできない | — | 口唇閉鎖不全 |
| 3. 飲み込もうとする前にむせる | — | 舌運動障害 |
| 4. 口角が左右非対称に下垂している | — | 口腔顔面失行 |

【問題 18】 スクリーニング検査について正しいのはどれか。

1. 反復唾液嚥下テストは、喉頭挙上術後の患者にも実施できる。
2. 経皮的酸素飽和度の測定は、不顕性誤嚥の評価に適している。
3. 改訂水飲みテストは、3 ml の水を舌背に注ぐ。
4. 咳テストは、不顕性誤嚥の検出に有効である。

【問題 22】 誤嚥性肺炎の説明で正しいのはどれか。

1. 原因菌は主に好気性菌である。
2. 発症にはサブスタンス P の減少が関与する。
3. 不顕性誤嚥を防止するため、胃瘻造設を行う。
4. 65 歳以上の高齢者の肺炎における割合は約 50% である。

【問題 23】 誤嚥性肺炎リスクを低下させると報告されている薬剤はどれか。

1. 抑肝散エキス（商品名：ツムラ抑肝散エキス顆粒など）
2. クラリスロマイシン（商品名：クラリシッドなど）
3. リバーロキサバン（商品名：イグザレルトなど）
4. リスペリドン（商品名：リスパダールなど）

【問題 25】せん妄で正しいのはどれか。

1. 過活動型せん妄、低活動型せん妄の2つに分類される。
2. 光や音の調節が予防ケアとして推奨される。
3. 直接因子にベッド上安静による不動がある。
4. 促進因子に認知症がある。

【問題 26】偽性（仮性）球麻痺で正しいのはどれか。

1. 両側多発性脳血管疾患により生じる。
2. 嚥下反射が消失または減弱する。
3. 弛緩性の構音障害を伴う。
4. 感覚障害は稀である。

【問題 27】ワレンベルグ症候群で正しいのはどれか。

1. 前下小脳動脈の閉塞で生じる。
2. 上位運動ニューロンの障害である。
3. 病巣側の顔面の温痛覚低下を来す。
4. 病巣と対側の上下肢の運動麻痺を来す。

【問題 32】筋萎縮性側索硬化症で正しいのはどれか。

1. 運動ニューロンと感覚ニューロンともに障害される。
2. 胃瘻造設は%FVCが50%以下で検討する。
3. 嚥下障害は咽頭期が先行する。
4. 舌に繊維束性収縮がみられる。

【問題 34】 認知症のタイプと症状の組み合わせで正しいのはどれか。

1. アルツハイマー型認知症 — 症状は手続き記憶の障害に始まる
2. レビー小体型認知症 — 抗精神病薬に対する過敏性を認める
3. 脳血管性認知症 — 緩徐進行性の認知機能障害である
4. 前頭側頭型認知症 — 病初期には脱抑制を認めない

【問題 36】 口腔・咽頭領域への放射線治療によって生じる障害で正しいのはどれか。

1. 咽頭知覚過敏
2. 発声機能喪失
3. 唾液分泌量増加
4. 照射部位の筋力低下

【問題 39】 小児の成長・発達で正しいのはどれか。

1. 生後 2 か月で首がすわる。
2. 1 歳で出生体重の約 2 倍になる。
3. 生後 5～6 か月では手の把握反射が消失している。
4. 母体由来の IgG は 1 歳 6 か月頃に成人レベルに達する。